

仙北地区少年保護育成委員会 「非行防止・健全育成標語」入賞作品決定

仙北地区少年保護育成委員会（荒木和子会長）が、市内各学校を対象に募集していた「非行防止・健全育成標語」の入賞作品が、応募総数 542 点の中から決定しました。

- 入賞者・作品は次のとおりです。（敬称略）
- 《小学校の部》
 優秀賞 佐藤心響（神代小5年）
 あいさつで つながれ、広がれ 笑顔の輪
 優良賞 瀧原りりこ（生保内小6年）
 ねえそれは やっていいこと？ だめだよ
 優良賞 猪本小雪（西明寺小6年）
 ネットには 裏の顔があるんだよ
- 《中学校の部》
 優秀賞 山田祥汰（西明寺中3年）
 薬物で消える理性と、君の夢
 優良賞 野村京平（角館中2年）
 「あと一回」いつまでたっても「あと一回」
 優良賞 石川大雅（神代中1年）
 その言葉 かきこんでいいか 確かめて
 考え直そう 相手になって…
 優良賞 杉村天都（桧木内中1年）
 よい未来 マナーを守れば 見えてくる



小学校の部で優秀賞を受賞した佐藤心響さん（神代小5年・左）と仙北地区少年保護育成委員会の荒木和子会長（右）。

神代小がキャリア教育で表彰



文部科学大臣表彰を受賞した神代小学校の井上一彦校長（左）と熊谷徹教育長（右）。

12月17日、神代小学校がキャリア教育優良学校として、文部科学大臣表彰を受賞しました。

この賞は、キャリア教育の活動が高く評価された学校やPTA団体などに贈られるものです。神代小学校では、大根・紅花栽培や修学旅行先でいぶりがっこの販売、ひまわり栽培やラベルデザインの作製、産業祭では学校田で栽培・収穫した米の販売など、学年ごとに特色あるキャリア教育の実践を積み重ねてきました。今後も地域に元気と笑顔を与えていきます。

新年の新たな気持ちで筆に込めて 第11回仙北市新春書き初め大会

仙北市新春書き初め大会が、1月7日に角館交流センターで開催され、市内の小中学生から一般まで43人が参加しました。

参加者は「さるどし」「平和な国」など各学年毎に決められた課題に取り組み、一文字一文字に新年の新たな気持ちを入れていきいきと筆を運んでいました。また、角館高校書道部による書道パフォーマンスも披露され、音楽に合わせて「百花繚乱」をテーマに、大きな紙に次々と書かれていく様子に参加した皆さんは、優雅さに驚き、筆さばきに見入っていました。



参加者は、それぞれの課題について真剣な面持ちで筆を走らせていました。課題「さるどし」に向かう小学校2年生の児童。

- ◆小学校1年生の部 石垣暖人・西根颯士（以上、角館小）◆小学校2年生の部 村田藍（生保内小）◆小学校3年生の部 佐々木祐奈（中川小）◆小学校4年生の部 戸澤明寿（角館小）・藤原洸介（中川小）◆小学校5年生の部 酒出悠晴（生保内小）◆小学校6年生の部 佐々木美祐（中川小）・山口隆真（角館小）◆中学校2年生の部 藤原瑞南（角館中）◆中学校3年生の部 戸澤彩・佐々木菜祐（以上、角館中）◆高校生の部 高橋香緒里・大友みどり・川村紗稀・鈴木優稀・高橋杏奈・戸澤咲子・中野菜央・白川葵・高橋南夏子・田口あみ・加羽麗奈（以上、角館高）



小学校1年生の課題は「ひかり」。ちよっぴり緊張さきみ？しっかりと筆を走らせました。

大きなかけ声、寒さ吹き飛ばす 実戦空手道武心会の寒稽古

1月10日、実戦空手道武心会（湯澤浩一師範）の寒稽古が行われ、5歳から52歳まで県内各道場の門下生約90人が参加しました。

参加者は神明社で奉納稽古を行い、今年1年の安全を祈願しました。祈願後は、ランニングで桧木内川へ移動し、川の中に膝まで浸かって寒中稽古に臨み、「せいっ」と気迫のこもった突きや受けなどの基本練習に取り組みました。

湯澤師範は、「この稽古は、寒さや痛みを耐えながら自分に打ち克つ精神力を養うために毎年開催している。今日の経験を生かして、今



県内各道場の門下生は、桧木内川に膝までつかかり、「せいっ」という気合いの掛け声とともに基本練習に励んでいました。



門脇光浩市長に受賞の報告に訪れた高橋慶多君（中央）と実戦空手道武心会の湯澤浩一師範（右）。

年1年色々なことに挑戦してほしい」と話していました。また、12月6日に開催された「第13回全日本ジュニア空手道選手権大会（東京都）」で、小学6年軽量の部に出場した武心会角館本部道場の高橋慶多君（西明寺小）が2年連続で第3位入賞を果たし、1月10日、門脇光浩市長へ成績の報告に訪れました。

高橋君は「3月に行われる東北大会でライバルに勝てるよう練習の成果を十分に披露したい」と今後の抱負を語りました。



ロビーダンスフェスティバル



ダンスバトルで火花散らす
1月10日、仙北市民会館で「ロビーダンスフェスティバル」が開催されました。このイベントは市内でもストリートダンスの教室を開いている進藤臣智さんを中心に企画されたもので、公開ダンスレッスンやダンスバトルなど初心者から経験者まで多くの人が楽しめるイベントとなりました。

ダンスバトルでは子どもたちが大人顔負けの激しいダンスを



参加者はダンスレッスンやダンスバトルでキラキラの動きを披露。会場は熱気に包まれていました。

次々と披露し、会場に訪れた観客を大いに沸かせました。

たざわ湖スキー場に審判棟が完成



国際大会の機運高まる

2月27日・28日に、たざわ湖スキー場で開催されるモーグルの国際大会「2016 FIS フリースタイルスキーワールドカップ（W杯）秋田たざわ湖大会」の審判棟が完成し、1月14日、現地で公開されました。

審判棟は昨年7月に着工し、12月に完成。場所は黒森山コースのリフト乗り場付近で、鉄骨一部木造3階建てとなります。公開に立ち会った佐竹敬久秋



完成した審判棟。審判用スペースと放送設備があり、1階に機材倉庫、2階に会議室があります。

田原知事は、「W杯以外の大会でも活用し、モーグルスキーを広めていきたい」と話しました。